

平成30年8月細砂通過放流の実施結果について

○平成30年度 細砂通過放流について	1
○平成30年6～8月 出し平ダム・宇奈月ダム水文データ	2
○H30.7.4～7.7の降水量データ	3
○平成30年7月5日～7日 連携排砂（2回目）の実施経過について	4
○両ダム水位の模式図（H30.6.27～6.29 連携排砂）	5
○連携排砂（2回目）時の両ダム水文データ	6

平成30年度 細砂通過放流について

1. 目的

出し平ダムでは主に排砂ゲート、宇奈月ダムでは水位低下用ゲートを用いて、流入する細かな土砂をできるだけ放流する。また、堆砂面付近の水の流れにより底質の改善を促す。

2. 実施基準

①梅雨期間

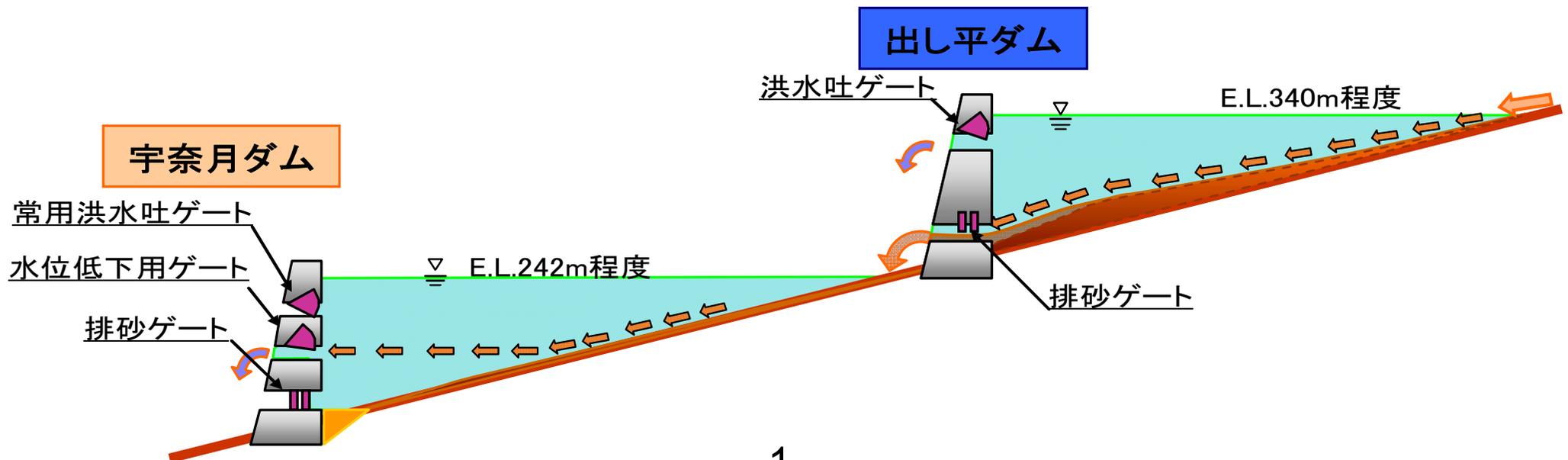
排砂後に、出し平ダムへの流入予測において、 $480\text{ m}^3/\text{s}$ を超過する可能性があり、かつダム流入量が出し平ダムで $300\text{ m}^3/\text{s}$ 、宇奈月ダムで $400\text{ m}^3/\text{s}$ のいずれかを上回る出水時に実施。

②梅雨明後

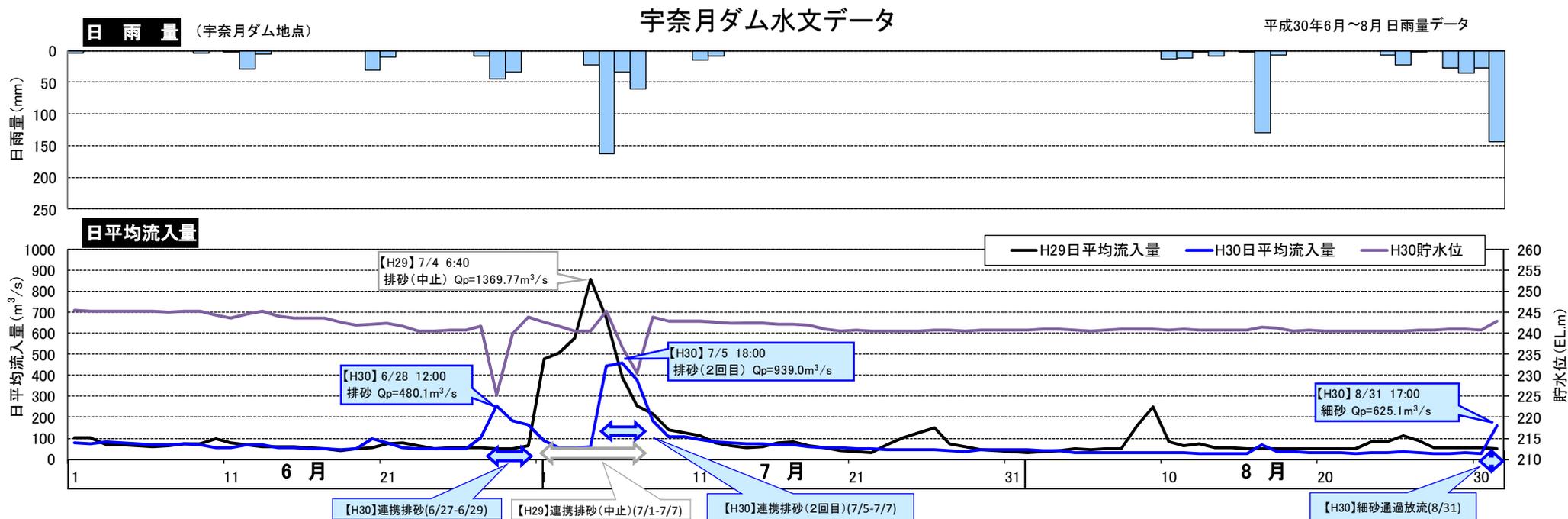
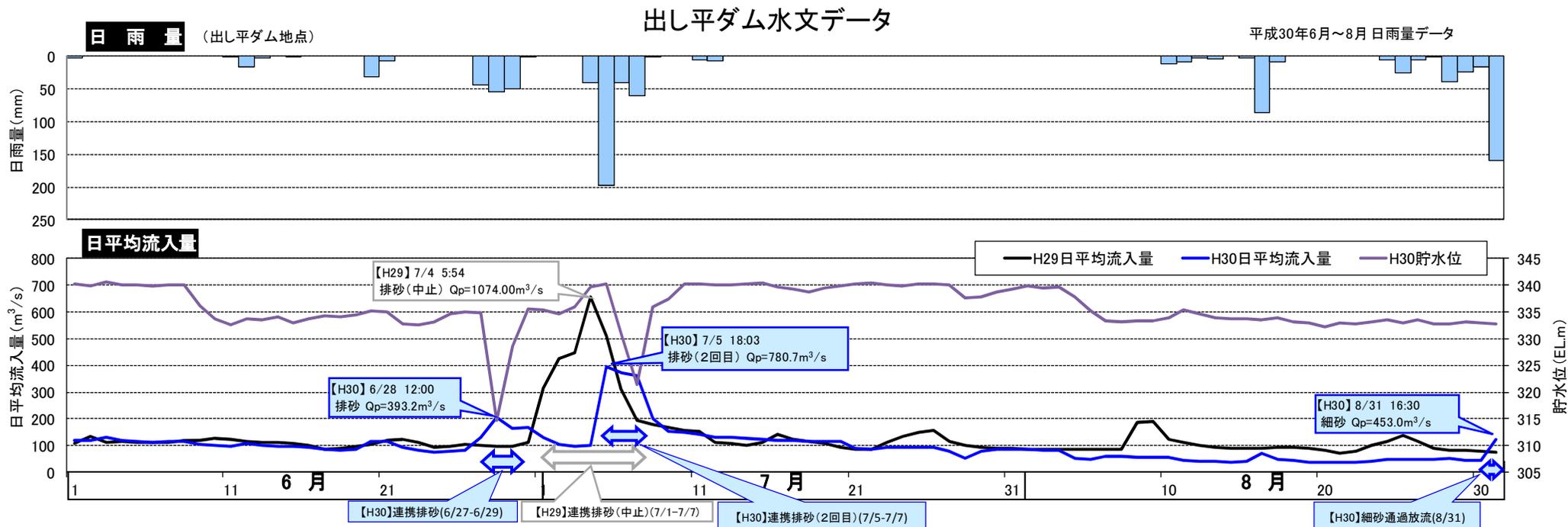
排砂後に、ダム流入量が出し平ダムで $300\text{ m}^3/\text{s}$ 、宇奈月ダムで $400\text{ m}^3/\text{s}$ のいずれかを上回る出水時に実施。

3. 実施方法

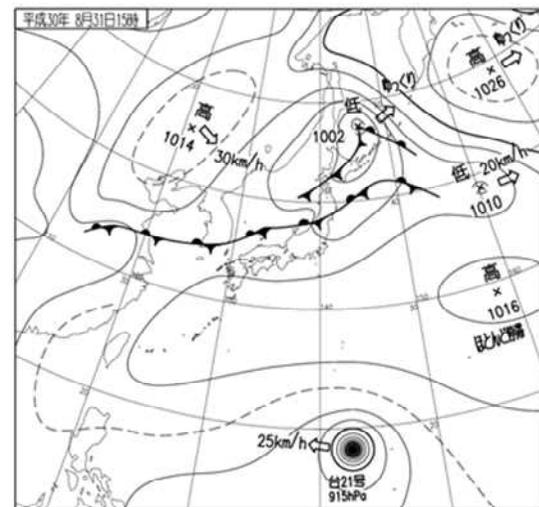
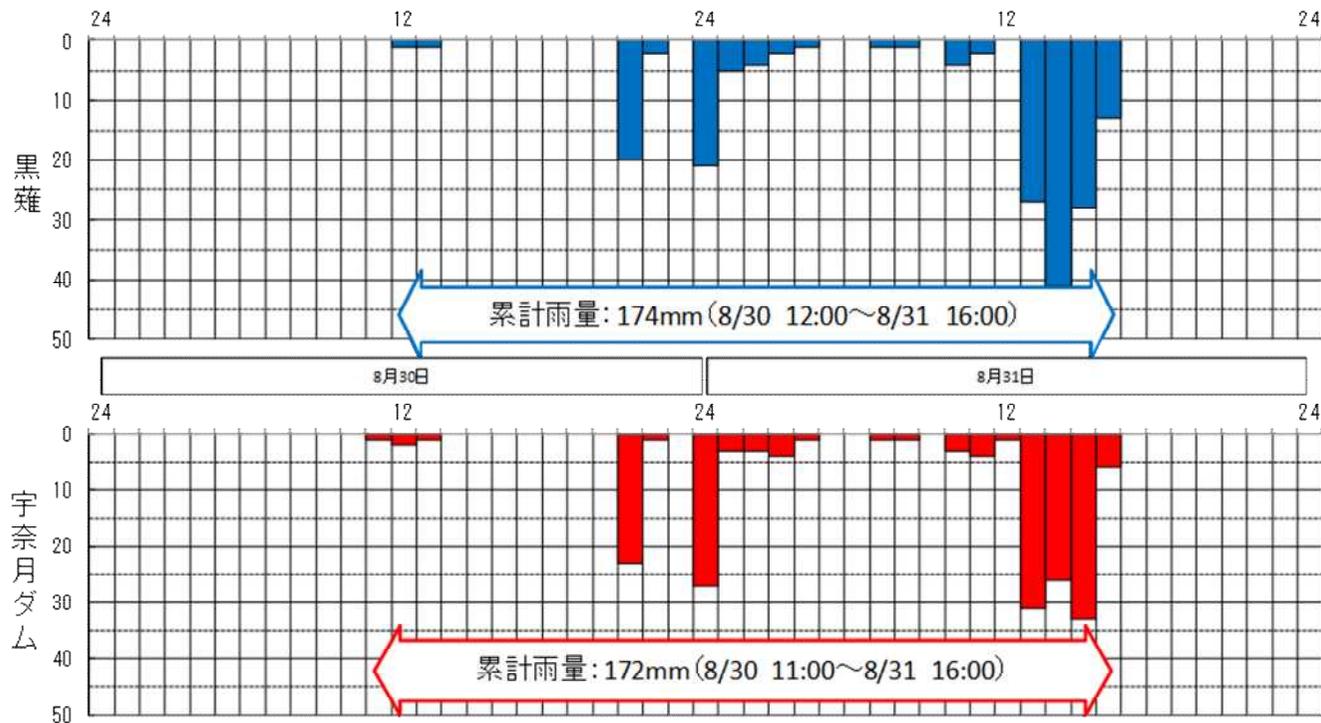
両ダムとも貯水位を高水位で保持したまま、出し平ダムでは主に排砂ゲート、宇奈月ダムは出洪水の調節完了後、水位低下用ゲートを開ける。なお、細砂通過放流において通砂実施基準流量に達しない場合の終了は、ダム流入量及びダム下流の濁度等を勘案し、実施機関で適宜判断する。また、細砂通過放流中において通砂実施基準流量を上回る流量に達した場合には、従来の通砂に移行できるものとする。



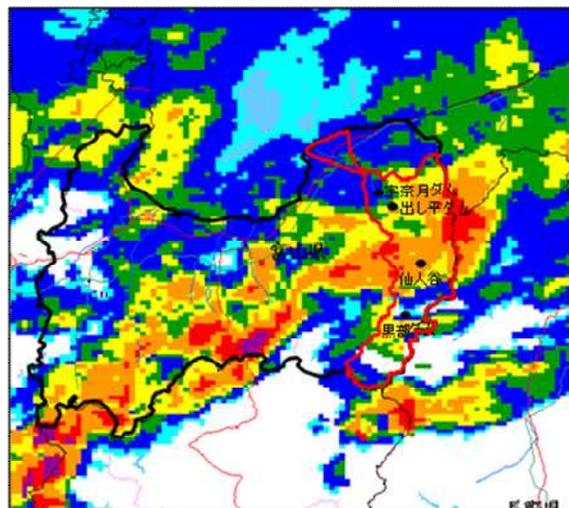
平成30年6～8月 出し平ダム・宇奈月ダム水文データ



細砂通過放流時の降水量データ



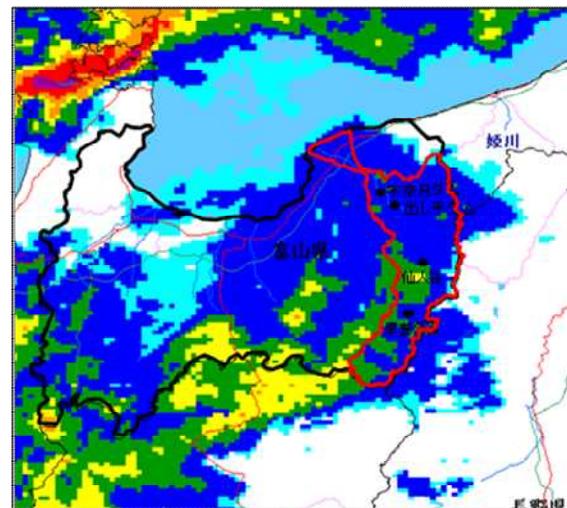
天気図(8月31日 15時)
出典: 気象庁HP



レーダ雨量(8月31日 14時50分)



レーダ雨量(8月31日 19時40分)



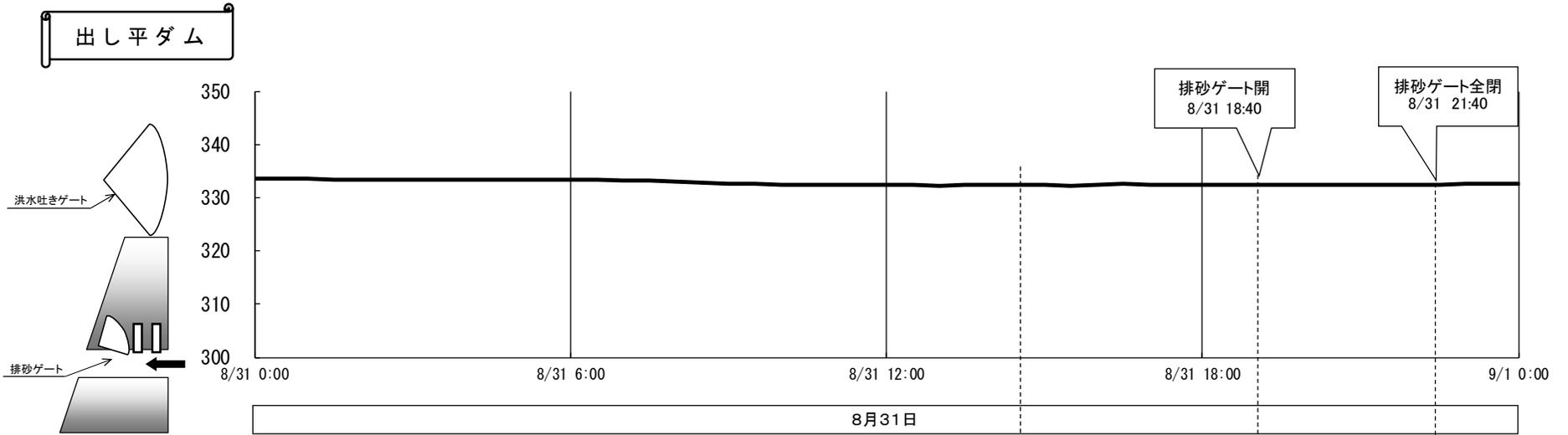
レーダ雨量(8月31日 24時00分)



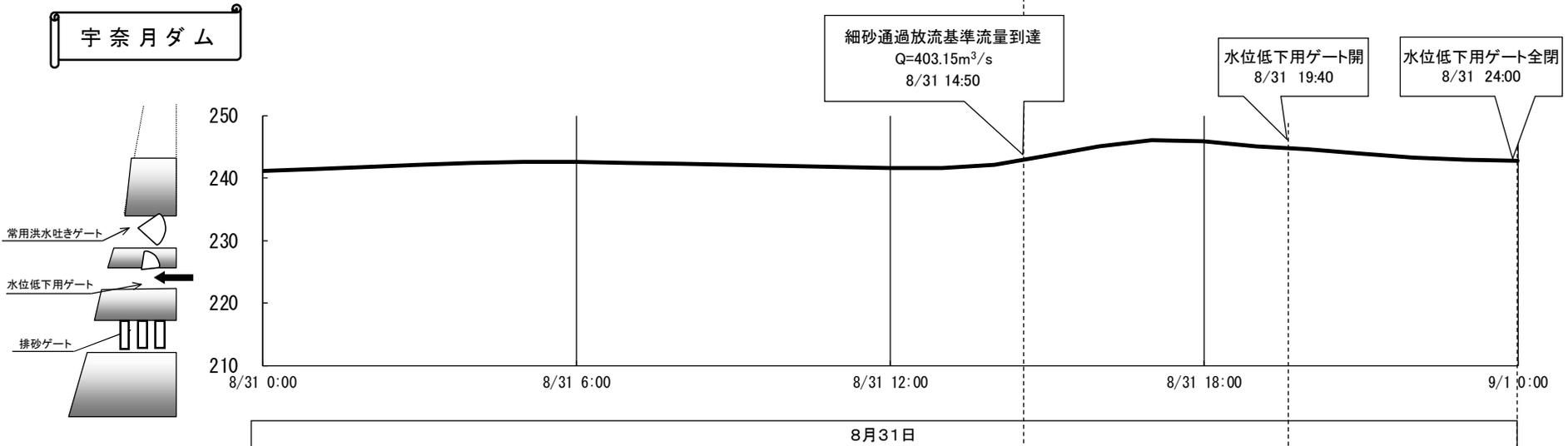
平成30年細砂通過放流の実施経過

日	時	出し平ダム	宇奈月ダム	備考
8月31日	14:00	細砂通過放流準備体制入り		
	14:50	—	細砂通過放流基準流入量確認 ($Q_{in} \geq 400 \text{m}^3/\text{s}$)	宇奈月ダム $Q_{in} = 403.2 \text{m}^3/\text{s}$
		連携排砂実施機関発足		
	16:30	ピーク流入量確認 ($Q_p = 453.0 \text{m}^3/\text{s}$)	—	
	17:00	—	ピーク流入量確認 ($Q_p = 625.1 \text{m}^3/\text{s}$)	
	18:40	排砂ゲート開操作開始	—	
	19:40	—	水位低下用ゲート開操作開始	
	21:40	排砂ゲート全閉	—	流入量の減少に伴い、操作終了
	24:00	—	—	水位低下用ゲート全閉
連携排砂実施機関解散				

細砂通過放流の状況（両ダム水位の模式図） H30. 8. 31



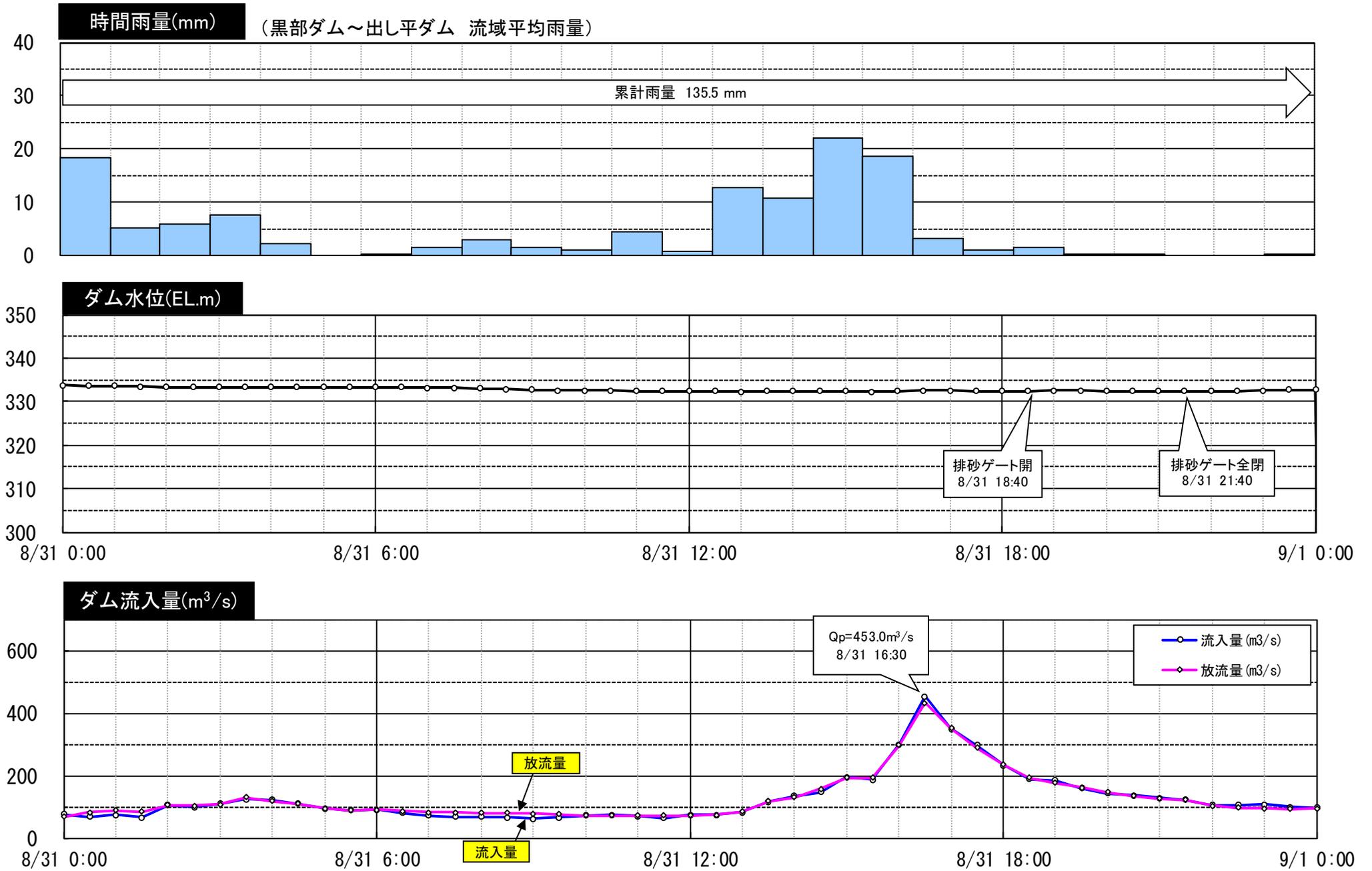
細砂通過放流
3時間00分



細砂通過放流
4時間20分

9時間10分

出し平ダム水文データ (H30.8.31)



宇奈月ダム水文データ (H30.8.31)

